

公開実用 昭和52-130729

BEST AVAILABLE COPY

実用新案登録願 12

昭和 年 月 日

特許廳長官 殿

51 3 31

考案の名称

シナロクサンヤ
磁氣樂音譜

考案者

イ・パラグケンカフクシ オオアライケダ
茨城県鹿嶋市本郷町田 1-4-10番地

株式会社 日立製作所東海工場内

ナガガミ

人ヲ
被

アヤフ
附

寒用新案登録出願人

住 所 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

名　　称(510)株式会社　日　立　製作所

代 者 吉 山 標 吉

代 理 人

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

株式会社 日立製作所 内

電話 東京 270-2111(大代表)

氏名(7237)弁理士

51 037748

52-130729

明細書

1 考案の名称 磁気録音機

2 実用新案登録請求の範囲

テープカートリッジの側面の一部に貼付けた導電性金属により成るラベルを検出して誤消去防止用回路を作動させることを特徴とする磁気録音機。

3 考案の詳細な説明

本考案はカセット式磁気テープ用カートリッジに好適な磁気録音機に関するものである。

カセット式磁気テープ用カートリッジには現在、誤消去防止用のツメが設けられている。これは普通のカセットテープレコーダに於ては、正常に作動するが、LL学習用カセットテープレコーダに於ては、練習録音用のトラック（オフ2又はオフ3トラック）の消去及び録音が誤消去防止用ツメの有無にかかわらず可能である為、オフ2又はオフ3トラックに種々のコントロール用信号や音声が録音されているソフトウェアをLL学習用ソフトウェアと並用する場合、誤つてオフ2又



はオ 3 ト ラ ク の 信 号 や 音 声 を 消 し て し ま う 危
険 性 が あ る。又 市 販 の ス テ レ オ 録 音 さ れ た ミ ュ
ー ジ フ ク テ ー ブ に つ い て も 同 様 誤 消 去 の 危 険 性
が あ る。

そ こ で 本 考 案 の 目 的 は 上 記 し た ソ フ ツ ウ エ ア
の 誤 消 去 を 防 止 す る 为 に 誤 消 去 防 止 用 ツ メ と は
別 に も う 一 つ の 新 ら し い 誤 消 去 防 止 の シ ス テ ム
を 有 す る カ セ ッ ト 式 磁 気 テ ー ブ 用 カ ー ト リ フ ジ
及 び そ れ に 適 し た 録 音 機 を 提 供 す る に あ る。

カ セ ッ ト 式 磁 気 テ ー ブ 用 カ ー ト リ フ ジ に 於 て
は 標 準 化 の 为 種々 の 規 定 が あ り こ れ を く ず す こ
と は 出 来 な い。又 誤 消 去 防 止 の 为 に は ハ ー ド 傷
(テ ー ブ レ コ ー ダ 傷) のみ の 対 案 で は 不 可 能 で
あ り、ソ フ ツ ウ エ ア 傷 (カ ー ト リ フ ジ 傷) と ハ
ー ド 傷 の 両 方 に よ つ て 初 め て 可 能 と な る も の で
あ る。

本 考 案 に 於 て は ソ フ ツ ウ エ ア 傷 に 於 て は 消
去 禁 止 テ ー ブ で あ る こ と を 検 出 す る た め の セン
サ ー と し て 導 電 性 金 属 に よ り 成 る ラ ベ ル を カ
ー ト リ フ ジ の 傷 面 の 一 部 に 貼 付 け て お く。ハ ー ド

側ではこのセンサーの有無を検出する接点及びスイッチ回路を設けこれによつてテープレコードの消去及び録音回路を ON/OFF するものである。

以下本考案を図面を用いて説明する。

オ 1 図はカセット式磁気テープ用カートリッジ 1 の後側面を表した図である。誤消去防止用ツメ 2 は従来使用されているものであり、導電性金属ラベル 3 が新たに追加されたものである。オ 2 図は上記の様なカセットが使用され、磁気録音機に装着された時の誤消去防止機構の動作をプロックダイアグラム的に表したものである。以下に動作の詳細を説明する。カセット式磁気テープ用カートリッジ 1 が磁気録音機のカセットコンパートメントに装着されると、該コンパートメントの内部に取付けられている検出用スイッチ素子 4 の接点部に導電性金属ラベル 3 が接触して、検出回路のトランジスタ Q_1 のベース極とエミッタ極の間を短絡することとなる。これによつてトランジスタ Q_1 は OFF となり

トランジスタ Q_4 が ON となり、リレー 6 が通電し附勢される。該リレー 6 の有する ON/OFF 接点スイッチによつて、1つはマイクロホン 7 より録音アンプ 8 へ入る録音信号を OFF とする。もう一方で録音バイアス及び消去用発振回路 9 を OFF とする。これらによつてもし誤つて磁気録音機を録音の状態に操作した場合でも、大切なテープの録音内容は何んら損傷を受けない。又導電性金属ラベル 2 を貼付けてない普通のカセットテープを使用し、磁気録音機に装着した時は、検出用スイッチ素子 4 は開放状態が保たれるので、トランジスタ Q_1 のベース極とエミッタ極間は開放状態で、抵抗 R_1 を通してベース電流がトランジスタ Q_4 に流入し、トランジスタ Q_4 を ON とする。これによつてトランジスタ Q_4 は OFF となり、リレー 6 は遮断状態を保つ。従つて磁気録音機を録音の状態に操作すると、マイクロホン 7 から入つた信号は録音アンプ 8 を通して録音ヘッド 10 に録音信号として流れ、録音バイアス及び消去用発振回路 9 も正常に動作する。

ので、通常の録音が可能となる。

従来の *LL* 学習用カセットテープレコーダに於ては、誤消去防止用ツメの有無にかかわらず練習トラック（オ 2 又はオ 3 トラック）の消去及び録音が可能であると言つ機能を持つてゐる為 *LL* 学習用以外の教材テープや市販ミュージックテープが誤消去される危険性を持つていた。本考案による導電性金属ラベルを貼付けたカセットテープと本考案による磁気録音機を組合せて使用する限りに於てはこの様な心配はなくなり、誤消去防止機能が強化される。又導電性金属ラベルは簡単に貼付する事が出来るので市販されているカセットを使用して容易かつ安価に作成可能である。

4 図面の簡単な説明

オ 1 図は本考案によるテープカートリッジ部の後側面図、

2 : 誤消去防止用ツメ

3 : 導電性金属ラベル

オ 2 図は磁気録音機側に於ける誤消去防止機構

公開実用 昭和52—130729

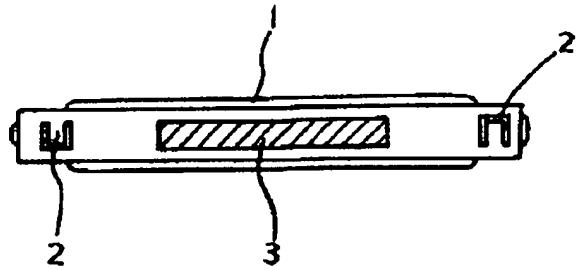
の一実施例を示すプロックダイアグラムである。

- 1：テープカートリッジ
- 3：導電性金属ラベル
- 4：検出用スイッチ素子
- 5：直流電源装置
- 6：リレー

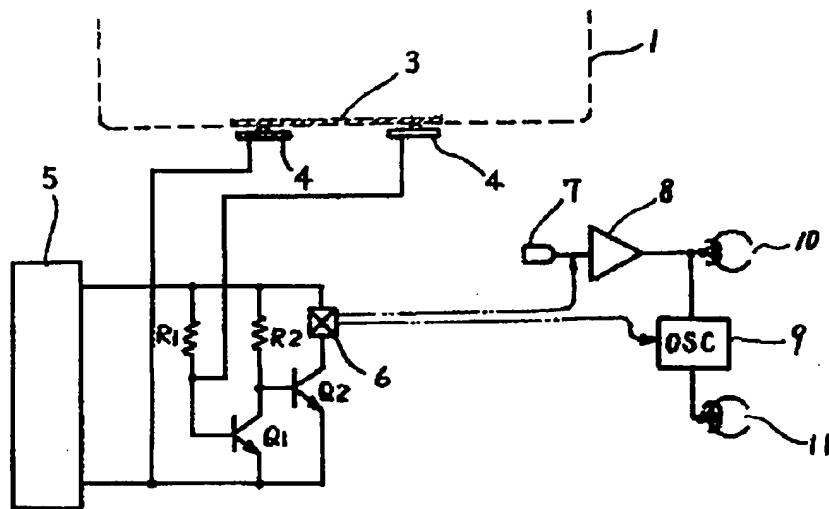
代理人弁理士 澤田利



才 1 圖



才 2 圖



代理人井理士 藤田 利幸

130729

公開実用 昭和52—130729

添附書類の目録

- | | |
|---------------|----|
| (1) 明細書 | 1通 |
| (2) 図面 | 1通 |
| (3) 委任状 | 1通 |
| (4) 実用新案登録願副本 | 1通 |

前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

考案者

アリガナ

アリガナ

4 行削除

52-130729

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.